

海外実習

「Withコロナ時代」にグローバルな舞台に挑戦し活躍できる人材の育成

本学医学部では、国際的なプレゼンスを高めることを目指して、若い世代の内向き志向を克服し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成に取り組んでいます。海外の大学および研究機関とのパートナーシップを基盤に最先端の技術と知識を共有し、時代のニーズにあった質の高い教育を提供できるよう、さまざまな活動を行っています。

その活動の柱として、医学生の短期海外臨床実習が挙げられます。所定の成績要件を充足し選抜された学生には、6年次の臨床実習の一部を海外での実習に充てる機会が与えられます。本学医学部基金から奨学金として旅費・滞在費の一部を支給して支援しています。コロナ禍直前の2019年度は、海外での臨床実習を希望した16名の学生をシンガポール国立大学、ハンブルク大学、ミュンヘン大学、ヴェローナ大学、UAE大学など世界5カ国の大学病院へ派遣し、世界12カ国・18大学から医学生を受け入れ、臨床実習が行われました(下図参照)。

コロナ禍の影響で2020年度以降、海外協定校との留学生の派遣・受入の一時休止を余儀なくされましたが、この休止期間を活用して、コロナ禍でも国際交流活動を安全かつ確実に実施できるよう、派遣・受入プログラムの見直しや危機管理体制の整備をすすめ、2023年度から本学6年次学生の海外への派遣と、海外協定校からの留学生の臨床実習受け入れを段階的に再開しました(下図参照)。今後、社会的情勢を見極めながら、世界規模で国際交流活動を推進してゆく予定です。

北海道大学医学部医学科の国際交流(受入・派遣)状況



キャンパスガイド

1 管理棟

2010年6月に改装された医学部の正面玄関。噴水のあるロタリーが目印です。各事務部、会議室、医学部長室などがあります。この建物の奥にある医学部学生会館「フラテ」への共通の入り口にもなっています。



広大な北大キャンパスのほぼ中央に位置する医学部。豊かな自然に囲まれた環境の中、医療人としての第一歩を踏み出すための6年間がここから始まります。

4 医学研究院・医学院・医学部図書館

医学系の専門書を中心に、雑誌を含めておよそ15万冊の蔵書があります。図書と雑誌(各5冊以内)を8日間借りることができます。2階には自習室・パソコン室が、3階には授業が行われる講義室があります。

【開館時間】平日 9:00~22:00
※長期休業期間中は同9:00~17:00



5 臨床講義棟

1階部分は第3講堂と第4講堂、2階部分が臨床大講堂です。臨床系の講義のほか、講演会等の学術活動にも使用されています。



8 医学部食堂(サークル室)

2006年4月に完成したカフェテリア形態の食堂。主に医学部生および関係者が利用しています。メニュー数約70品、席数120席前後。売店も併設されていて、文具・食品から白衣・実習着なども購入できます。また、この建物の一部がサークル室として使用されています。

【営業時間】平日 11:00~14:00(購買部 11:00~14:00)
※土日祝は休み



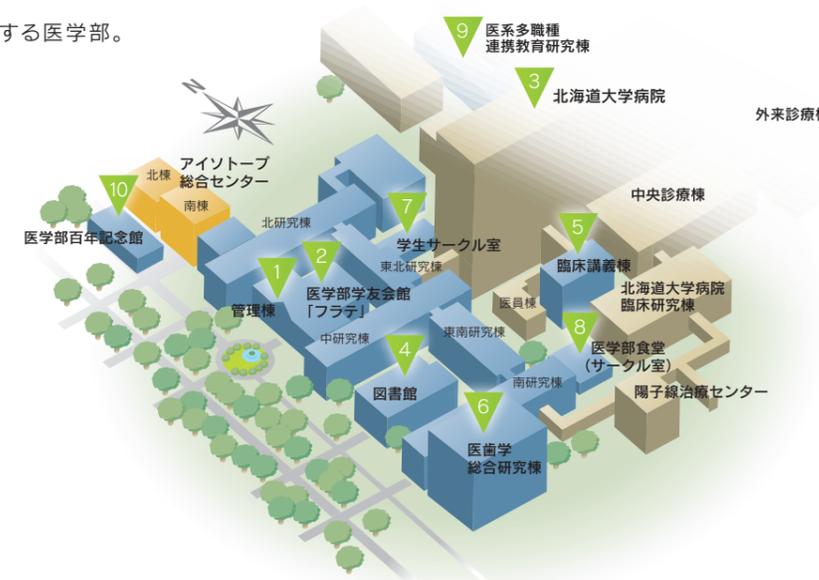
2 医学部学生会館「フラテ」

医学部創立90周年記念事業により建設され、2010年7月に竣工しました。ホール、特別会議室、大研修室があります。



3 北海道大学病院

研究棟に隣接する北海道大学病院。4年次2学期からは病院での臨床実習が主な授業になります。世界最先端の陽子線治療センターもあります。



6 医歯学総合研究棟

医学および歯学の2部局により共同で運営される施設です。学部教育と大学院教育が行われており、共用の実験機器類が設置され、各分野の研究者に活用されています。



9 医系多職種連携教育研究棟

学生と病院職員が共に学ぶ「多職種連携教育」の推進を目的として、2016年4月に開設されました。シミュレーション教育を行う「クリニカルシミュレーションセンター」、学部生が実習、カンファレンスや自習に利用するスペースなどがあります。



7 学生サークル室

東北棟の横、学生の課外活動のために設置されたサークル共用施設です。利用したいサークルが時間指定で借りて活動を行っています。年末年始や清掃など臨時休館日を除き通年で開館しています。



10 医学部百年記念館

医学部創立100周年を記念し2019年に竣工。医学部の歴史資料を展示・保管するほか、講演会、学会、同窓会行事など多目的に利用できます。



私が海外実習を通して得たもの

海外実習経験者

私は将来、基礎研究を続けて世界に羽ばたく研究医になることを目指しています。まだ原因がわかっていない病気や治療法のない疾患に対して、医師の視点を持った上で基礎研究から解決方法を探していこうと日々努力を重ねています。その医師の視点の1つとして海外での医療体制や日本と頻度の異なる疾患、また抱えている問題などを学びたいと考え、ニュージーランドとUAEの2カ国へ短期留学を経験しました。

もちろん専門的なことも学びましたが、自分の中で一番大きかった学びは、「違いにばかり目を向けず、共通点を考えること」です。種々の衝突は価値観の違いであることがほとんどです。よく言われるのは違う価値観を受け入れるということですが、それは自分の価値尺度を押しさえ込むということですし、また自分と相手は違うという意識があると思います。それより、互いが共通して持っている目的や考えに目を向けることで良い関係性を築くことができることを学びました。

北海道大学は新渡戸カレッジや協定校との交換留学など、海外での経験を積める機会が多く用意されており、医学部の先生方も幅広い支援をしてくださいます。この環境は将来医師として国際的に活躍しようと考えている受験生の方々にとって素晴らしいものだと思います。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



大学院医学院博士課程3年
免疫学教室
春日 優介さん



2年次: オークランド大学スカッシュ部での学生交流(ニュージーランド)



5年次: Al AinのTawam Hospitalにて(UAE)